

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・ 聞	書	読					
1 学 期	単元 問うこと語ること 【知識及び技能】 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集整理して、伝えあう内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ものの見方、感じ方を深めようとしている。	・指導事項 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 ・「境目」ということばで表現できる過去の経験や出来事をあげ、伝えあう。 ・教材「境目」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集整理して、伝えあう内容を検討することができる。 ・ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	7
	単元 評論文への招待 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組み方や接続の仕方について理解する。 ・評論文における学術的な術語についてその用いられ方やはたらきを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理展開を追いながら、論旨を的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ことば」やテクノロジーと人間の関係について興味をもつ。	・指導事項 ・具体例から抽象的な内容を読み取らせる。 ・段落相互の関係や対比をつかみ、論の構造を理解する。 ・言語の枠組み・監視社会について考え意見を交換する。 ・教材「ことばとは何か」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・文章の効果的な組み方や接続の仕方について理解している。 ・評論文における学術的な術語についてその用いられ方やはたらきを理解している。 ・論理展開を追いながら、論旨を的確に読み取ることができる。 ・「ことば」やテクノロジーと人間の関係について興味をもっている。	○	○	○	8
	単元 評論文への招待 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組み方や接続の仕方について理解する。 ・評論文における学術的な術語についてその用いられ方やはたらきを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理展開を追いながら、論旨を的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ことば」やテクノロジーと人間の関係について興味をもつ。	・指導事項 ・抽象的な主張を多様な具体例で積み上げていく議論の仕方に親しむ。 ・教材「デジタル社会」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・身近なことがらについて、根本から見つめなおす文章を読むことで、語彙を豊かにしている。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え工夫している。 ・具体と抽象の関係に関心を持ち、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2 学 期	単元 ことばで伝える思いと考え 【知識及び技能】 ・身近なことがらについて、根本から見つめなおす文章を読むことで、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体と抽象の関係に関心を持ち、ものの見方、考え方を深める。	・指導事項 ・現代の日本社会について書かれた文章を読み、自信の考えを鮮明に示し、他者の意見に誠実に耳を傾ける。 ・よりよい結論を導きだすにはどうすべきか、考えさせる。 ・教材「身体この遠きもの」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・話し言葉や書き言葉の特徴や役割や表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ適切さなどに配慮した表現や言葉遣いを理解し使用している。 ・論点を共有し考えを深めつつ、話し合いの目的や種類、状況に応じて話し合いの仕方や結論のだし方を工夫している。 ・教材の内容に関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深めている。	○	○	○	5

	単元 情報と推論 伝えること受け止めること 【知識及び技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて、様々な観点から情報を収集し伝え合う内容を検討する。 ・論点を共有し、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会の現状や他者への言葉への向き合い方に関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深める。	・指導事項 ・情報社会の現状を認識し、「情報」への態度を考えさせる。 ・身体と記憶と言語の関係について読み取り、他者の言葉への向き合い方について考え、意見を交換する。 ・教材 「わかっていること、いないこと」「記憶する身体」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・目的に応じて、様々な観点から情報を収集し伝え合う内容を検討している。 ・論点を共有し、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・情報社会の現状や他者への言葉への向き合い方に関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深めている。	○	○	○	7
	定期考查						○	○		1
	2 学期	単元「根拠」から「主張」へ 【知識及び技能】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえ、内容や構成論理の展開についての的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代人の思考や、「差異」について等教材の内容に関心を持ち、考えを広げ深める。	・指導事項 ・結論の理解だけでなく、そこに至る筆者の思考や議論を丁寧に読み解く。 ・現代の本質的な課題について、じっくりと考えさせる。 ・教材 「マルジャーナの知恵」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・文章の種類をふまえ、内容や構成論理の展開についての的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・現代人の思考や、「差異」について等教材の内容に関心を持ち、考えを広げ深めている。	○	○	○
	単元「根拠」から「主張」へ 【知識及び技能】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえ、内容や構成論理の展開についての的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代人の思考や、「差異」について等教材の内容に関心を持ち、考えを広げ深める。	単元「根拠」から「主張」へ 【知識及び技能】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえ、内容や構成論理の展開についての的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代人の思考や、「差異」について等教材の内容に関心を持ち、考えを広げ深める。	○	○	○	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・目的に応じて、様々な観点から情報を収集し伝え合う内容を検討している。 ・論点を共有し、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・情報社会の現状や他者への言葉への向き合い方に関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深めている。	○	○	○	7
	定期考查						○	○		1
	3 学期	単元 主張の論理的な伝え方 【知識及び技能】 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄がよりの確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考える。 ・読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の特徴や課題を捉え直し説得力のある意見文を書く力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の心や主体性に対する考え方について関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深める。	・指導事項 ・適切な根拠に基づく議論のあり方を学ばせる。 ・根拠に基づく説得力のある意見文を書かせる。 ・教材 「来たるべき民主主義」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 ・自分の考えや事柄がよりの確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ・読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の特徴や課題を捉え直し説得力のある意見文を書く力をつけている。 ・人間の心や主体性に対する考え方について関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深めている。	○	○	○
単元 主張の論理的な伝え方 【知識及び技能】 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄がよりの確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考える。 ・読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の特徴や課題を捉え直し説得力のある意見文を書く力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の心や主体性に対する考え方について関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深める。		・指導事項 ・論理的、分析的な読解を実践する。 ・多くのすぐれた文章を読み、自己の世界を広げ複眼的な視点をもたせる。 ・教材 「であることとすること」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・認識や思考を支える働きが言葉にあることを理解している。 ・論旨を的確にとらえ、評価したり、自分の考えを深めている。 ・異文化理解や、文明論について関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深めている。	○	○	○	8
定期考查							○	○		1 合計 70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

教科担当者：（1組：美田恵）（2組：赤崎伸一）（3組：松永忠久）（4組：安齋廉）
（5組：美田恵）（6組：美田恵）（7組：安齋廉）（8組：赤崎伸一）

使用教科書：（筑摩書房 言語文化 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活で他者と伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたり国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試はもちろん、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感や豊かに想像できる力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたって日本の言語作品に親しみ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉により他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	第1章 古文への扉 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法（特に用言）を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳をし、発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ◎教材 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」「大江山」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○歴史的仮名遣い、文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○説話の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○説話という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	9
	第8章 漢文への扉 【知識及び技能】 ○漢文読解に必要な句法、語彙を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して書き下し文や口語訳をし発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法など協働して学び、書き下し文や口語訳をできるようにする。	◎指導事項 ○漢文作品へ興味関心を持たせる。 ○漢文訓読の仕方を学ぶ。 ○古代中国の世界観を理解する。 日本文化との関連も理解する。 ◎教材 「守珠」「推敲」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	到達度テスト			○	○	○文法、句法事項など知識が定着している。 ○初見の文章を知識を使って読解できる。	○	○	○	1
	第2章 人間の普遍的な姿 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。和歌修辞法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳や心情を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ○和歌の修辞法、読解を学ぶ。 ◎教材 『かぐや姫』『伊勢物語』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○物語の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○物語という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○和歌の修辞法や鑑賞を通して日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	11
	第9章 漢語の特色 【知識及び技能】 ○漢文読解に必要な句法、語彙を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をし、発表する。 ○漢語の成り立ちを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法など協働して学び、訓読や口語訳をできるようにする。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ◎故事成語の内容を理解する。 ◎教材 「故事成語」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○故事成語の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6

2 学 期	第13章 日本語の変遷 【知識及び技能】 ○近代語の成立の経緯を学ぶことで、古文からの変遷を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○近代語が成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ○言文一致体の成り立ちを理解する【学びに向かう力、人間性等】 ○書き言葉と話し言葉の違いなどを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○近代語、言文一致体の成立を理解させる。 ○話し言葉と書き言葉の違いを意識させる。 ◎教材 「近代語の成立」など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○近代語や言文一致体の成立を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化との関係について理解している。 ○近代語、言文一致体の成立を学ぶことで、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	2
	第1回定期考査		○	○		○文法、句法事項など知識が定着している。 ○読解した内容を伝える言葉で表現できる。	○	○	○	1
	第14章 想像力がひらく世界 【知識及び技能】 ○近代小説の語彙や表現を理解し、登場人物の心情の理解方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○小説の構成や登場人物の心情などを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○小説読解の方法を理解させる。 ○作品の世界観や登場人物の心情を話し合い、発表させる。 ◎教材 「羅生門」など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○小説作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○「今昔物語集」と読み比べて、時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化についてや視点の異なりについて理解している。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	7
	第3章 自分という他者 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。和歌修辭法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳や心情を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○日記文学へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ○和歌の修辭法、読解を学ぶ。 ◎教材 『土佐日記』『更級日記』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○日記の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○日記作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○和歌の修辭法や鑑賞を通して日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	10
	第10章 言動に表れる人間の本質 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚える。 ○史伝の歴史背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をし、発表する。 ○登場人物の人物像を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○史伝の内容を理解する。 ◎教材 「管鮑之交」「刺客荊軻」など。 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○史伝の歴史的・文化的背景などを理解している。○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての的確に捉えている。 ○史伝の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	第2回定期考査		○	○		○文法、句法事項など知識が定着している。 ○意見を伝える言葉で表現できる。	○	○	○	1
	第4章 言葉に表れる意思 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳や内容を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○随筆文学へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○筆者の考え方や世界観を考え、発表する。 ○和歌の修辭法、読解を学ぶ。 ◎教材 『徒然草』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○『徒然草』の歴史的・文化的背景などを理解している。また兼好のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○随筆の読解を通して、日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	10
	第11章 韻文の表現 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚える。 ○唐詩の規則を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をし、発表する。 ○唐詩の読解、鑑賞をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○唐詩の規則、句法、内容など協働して学び、漢詩読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各唐詩に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○唐詩の内容を鑑賞する。 ◎教材 「鹿柴」「江雪」など。 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○唐詩の規則を理解している。 ○唐詩の歴史的・文化的背景などを理解し、日本文化への影響も理解している。 ○唐詩の規則や句法を踏まえ、構成などについての的確に捉えている。 ○唐詩の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	7
	第3回定期考査		○	○		○文法、句法事項など知識が定着している。 ○意見を伝える言葉で表現できる。	○	○	○	1
	第6章 韻文の表現 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚	◎指導事項 ○和歌・俳句の修辭法、読解を学ぶ。				○和歌・俳句を読むために必要な修辭法、特有の表現などについて理解している。 ○各和歌集や俳文の歴史的・文化的背景など				

	える。和歌・俳句修辞法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○習得した語彙・文法・修辞法を利用して、口語訳や解釈を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○口語訳、解釈を協働してできるようにする。	○和歌・俳句へ興味関心を持たせる。 ○韻文読解に必要な知識を付ける。 ○韻文に表現された心情や世界観を考え、発表する。 ◎教材 『万葉集』『古今和歌集』など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用・ノート作成、意見まとめ提出等。	○ ○ ○	を理解している。 ○韻文作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○ ○ ○	8
	第5章 転換期の文体と行動 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳や内容を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○軍記文学へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○作品に現れる考え方や世界観を考え、発表する。 ◎教材 『平家物語』『木曾の最期』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用・ノート作成、意見まとめ提出等。	○ ○ ○	○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○『平家物語』の歴史的・文化的背景などを理解している。また作品に表現されているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○軍記の読解を通して、日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○ ○ ○	6
3 学期	第12章 読みつがれることば 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚える。 ○中国思想の歴史背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をし、発表する。 ○中国思想の世界観を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○中国思想の内容を理解する。 ◎教材 『論語』『老子』など。 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用・ノート作成、意見まとめ提出等。	○ ○ ○	○中国思想の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○思想の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○ ○ ○	6
	第16章 韻文の表現 【知識及び技能】 ○近現代日本語韻文の表現を理解し、解釈・鑑賞方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○近現代日本語韻文の構成や登場人物の心情などを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○韻文読解の方法を理解させる。 ○作品の世界観や鑑賞・解釈を話し合い、発表させる。 ◎教材 「竹」「二十億光年の孤独」など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用・ノート作成、意見まとめ提出等。	○ ○ ○	○短歌、俳句の規則や表現を理解する。 ○韻文作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○ ○ ○	6
	第4回定期考査		○ ○	○文法、句法事項など知識が定着している。 ○意見を伝わる言葉で表現できる。	○ ○ ○	1
						合計
						105

科目 文学国語

单位数： 2 单位

教科 国語 の目標：

科目 文学国語 の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・聞	書	読					
1 学期	随想・評論（一）（二） 【知識及び技能】 - 言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集整理して、伝えあう内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - ものの見方、感じ方を深め、評論の基本的な読みを習得する。	- 指導事項 - 豊かな認識へと導く言葉にふれ味わう。 - 構成や展開、表現の仕方をふまえ、解釈の多様性について考察させる。 - 教材「情報の彫刻」「バイリンガリズムの政治学」「実体の美と状況の美」 - 一人1台端末の活用 等 - 資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	- 言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、語彙を増やし、それぞれの文章の特徴などについて理解を深めている。 - 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方など、的確に捉えている。 - 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 - 教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞く。読書に親しみ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	14
	小説（一） 【知識及び技能】 - 文学的文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深める。 - 我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 - 選んだ題材に応じて情報を収集、整理し表現したいことを明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 - 小説を読み、人間に対する深い感受性を養う。	- 指導事項 - 小説を読み自分なりの印象をまとめて表現する。 「変身」をめぐる主人公の考えや心情を理解しまとめる。 - 古今の変身譚を読み、作品への理解を深める。 - 教材「山月記」 - 一人1台端末の活用 等 - 資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	- 文学的文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。 - 我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 - 選んだ題材に応じて情報を収集、整理し表現したいことを明確にしている。 - 教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞く。読書に親しみ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	9
	第1回 考査						○	○		1
2 学期	随想・評論（四） 【知識及び技能】 - 自分とは異なる感じ方、人や物やことばとの関わり方の多様性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察させ、現実を多面的に捉える想像力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 教材の内容に興味を持ち、言葉がもつ価値への認識を深めさせる。	- 指導事項 - 身近な題材を取り上げ、背後にある問題を読み解かせる。 - 論旨の展開を読み取らせる。 - 記号論やソシュールの言語思想について関心を広げ、理解を深めさせる。 - 教材「記号論と生のリアリティ」 - 一人1台端末の活用 等 - 資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	- 言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し語彙を増やし、それぞれの文章の特徴などについて理解を深めている。 - 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などの確に捉えている。 - 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 - 教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞く。読書に親しみ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	6
	随想・評論（六） 【知識及び技能】 - 言語や国、時代の違う文章に触れ、言葉に込められた意味を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 矛盾や葛藤を含めて物事を伝える文学の力について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 教材の内容に興味を持ち、言葉がもつ価値への認識を深めさせる。	- 指導事項 - 身近な題材を取り上げ、背後にある問題を読み解かせる。 - 随想の特徴を理解させる。 - 過去の作品・資料などにふれ、現在のあり方を考えさせる。 - 教材「死者の声を運ぶ小舟」 - 一人1台端末の活用 等 - 資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	- 言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し語彙を増やし、それぞれの文章の特徴などについて理解を深めている。 - 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方など、的確に捉えている。 - 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 - 教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞く。読書に親しみ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	6
	第2回 定期考査						○	○		1
2 学期	随想・評論（七） 【知識及び技能】 - 文章のテーマに関連付けて語彙や概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 内容や全体の構成、例示、引用、	- 指導事項 - 自らの世界観に形を与えてくれる言葉を探させる。 - 様々な例示から、筆者の描く内容を正確に把握させる。 - 筆者の文章構成技法を学ばせ、探				- 言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し語彙を増やし、それぞれの文章の特徴などについて理解を深めている。 - 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方など、的確に捉えている。 - 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、				

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

国語 科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（1組：中野靖子）（2組：宗京沙織）（3組：豊田佐和子）（4組：小鷹聡子）

（5組：宗京沙織）（6組：中野靖子）（7組：豊田佐和子）（8組：小鷹聡子）

使用教科書：（明治書院 精選古典探究 古文編・漢文編）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活で他者と伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたり国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試はもちろん、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感や豊かに想像できる力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたって日本の言語作品に親しみ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉により他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	7 物語2 2 随筆1 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ◎教材 大鏡「南院の競射」 「花山天皇の出家」 方丈記「養和の飢饉」 「日野山の閑居」 「ゆく川の流れ」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○随筆、物語という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	24
	4 故事・寓話 2 文 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○史伝の歴史背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○登場人物の人物像を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○故事・寓話・文の内容を理解する。 ◎教材 「漱石枕流」「杞憂」「画竜点睛」 「雑説」「桃花源記」「漁夫辞」 「愛蓮説」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての的確に捉えている。 ○故事、寓話、文の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	11
	第1回考查						○	○		1
2 学 期	5 随筆2 6 物語と日記2 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ◎随筆文学の歴史的背景 ◎教材 枕草子「すさまじきもの」「中納言参り給ひて」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○物語、日記という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	12
	1 古体詩 4 文 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○思想に基づいた文や漢文小説の歴史背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○登場人物の人物像を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○詩、漢文小説の内容を理解する。 ◎教材 「桃夭」「行行重行行」「飲酒」 「師説」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての的確に捉えている。 ○文（辞）や詩の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	7
	第2回考查						○	○		1

2 学 期	6 物語と日記2 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ◎源氏物語の歴史的背景 ◎教材 源氏物語「光源氏誕生」「小柴垣のもと」「物の怪の出現」 更級日記「門出」「源氏物語を読む」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○物語・日記という文章の種類や作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	12
	5 史話・史伝2 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○史伝の歴史背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○登場人物の人物像を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容などを協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○史話・史伝の内容を理解する。 ◎教材 『史記』『鴻門之会』『四面楚歌』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○史話、史伝の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	9
	第3回考查						○	○		1
3 学 期	8 詩歌 4 物語と日記1 8 上代の文学 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し発表させる。 ○和歌、俳句の解釈ができるようにする。歌論、俳論に慣れさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ○和歌解釈、和歌の歴史的背景 ◎教材 「古今和歌集」「新古今和歌集」「梁塵秘抄」「古事記」「去來抄」「平家物語」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○和歌、俳句という韻文や物語や日記という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	19
	後編2 思想2 後編2 思想2 後編6 思想1 後編1 詩2 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○中国思想を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○中国思想の内容を理解させる。 ○古体詩を解釈できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容などを協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○中国思想の内容を理解する。 ◎教材 『老子』『大道廃、有仁義』『小国寡民』『莊子』『曳尾於塗中』『孟子』『性善』『荀子』『性惡』『韓非子』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○中国思想や漢詩（古体詩）の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	7
	第4回考查						○	○		1
										合計
										105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古文

教 科： 国語 科 目： 古文 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（①・②：小平響太）（③・④・⑤：中野靖子）

使用教科書：（ 明治書院 精選古典探究 古文編 ）

教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語知識や技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活で他者と伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたり国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古文 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉の特徴や使い方を身に付け、文章に含まれる情報の扱い方を学び、大学入試に対応できるだけでなく、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力を伸ばし、他者との関わり合いの中で、伝えあう力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書にしたしむ事で自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	後編 2 随筆 3 日記 7 物語 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文読解に必要な知識を身に付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、理解する。 ○和歌解釈、和歌の歴史的背景を理解する。 ◎教材 枕草子 「雪のいと高う降りたるを」 「二月のつごもりごろに」 蜻蛉日記「町の小路の女」 「鷹を放つ」 大鏡 「三船の才」 「肝だめし」 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○随筆、日記、物語という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	○	○	○	13
	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○随筆、日記、物語という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 ○論理的に文章を読む力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○古文読解に必要な知識を身につけさせる。 ○登場人物の心理や世界観を理解する。 ○文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、入試問題演習を通して、古文読解に必要な語彙、文法を理解している。 ○随筆、日記、物語という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 ○問題文の内容に関心と親しみを持ち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考查						○	○		1

[illegible]

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 漢文

教科：国語 科目：漢文

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 組～組

教科担当：（①：松永）（②：宗京）（③：宗京）（④：松永）（⑤：松永）（組：）

使用教科書：（明治書院「古典探究 漢文編」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活で他者と伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたり国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 漢文 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試はもちろん、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感や豊かに想像できる力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたって日本の言語作品に親しみ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉により他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準				知	思	態	配 当 時 数
			話	聞	書	読								
1 学 期	後編3 史話・史伝3 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○史伝の歴史背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○登場人物の人物像を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	○指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○史話・史伝の内容を理解する。 ○教材 『史記』（「完璧帰趙」）「渾池之会」「刎頸之交」 ○一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○史話、史伝の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	○	○	○	15
	B 入試問題演習 【知識及び技能】 ○句法、語彙を確認しながら読み取る。 ○初めての文章を論理的に考えながら読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを駆使して、論理的に文章を読み取る。 ○登場人物の人物像、作者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○物語の内容や筆者の主張を主体的にとらえ、自分の人生に活かそうとしている。	○指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○文章に描かれた当時の中国の人々の主張、考え方・感じ方を理解する。 ○教材 入試問題過去問より ○一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○史伝、文、詩等の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査										○	○		1
2 学 期	後編4 文 後編6 「長恨歌」と日本文学 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○思想に基づいた文や漢文小説の歴史背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○登場人物の人物像を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	○指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○文、詩文の内容を理解する。 ○教材 文「師説」詩「長恨歌」と源氏物語、枕草子、他 ○一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○文（辞）や小説の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	○	○	○	15
	B 入試問題演習 【知識及び技能】 ○句法、語彙を確認しながら読み取る。 ○初めての文章を論理的に考えながら読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを駆使して、論理的に文章を読み取る。 ○登場人物の人物像、作者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○物語の内容や筆者の主張を主体的にとらえ、自分の人生に活かそうとしている。	○指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○文章に描かれた当時の中国の人々の主張、考え方・感じ方を理解する。 ○教材 入試問題過去問より ○一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○史伝、文、詩等の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	○	○	○	12
	定期考査										○	○		1
	後編2 思想2 後編1 詩2 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○中国思想史を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○中国思想の内容を理解させる。 ○古体詩を解釈できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	○指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○中国思想の内容を理解する。 ○教材 『老子』『上善若水』『無用之用』『莊子』『夢為胡蝶』『墨子』『兼愛』『韓非子』『侵官之害』『古体詩』 ○一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○中国思想や漢詩（古体詩）の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	○	○	○	8

3 学 期	Ⅱ 入試問題演習 【知識及び技能】 ○句法、語彙を確認しながら読み取る。 ○初めての文章を論理的に考えながら読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを駆使して、論理的に文章を読み取る。 ○登場人物の人物像、作者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○物語の内容や筆者の主張を主体的にとらえ、自分の人生に活かそうとしている。 定期考査	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○文章に描かれた当時の中国の人々の主張、考え方・感じ方を理解する。 ◎教材 入試問題過去問より ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについて的確に捉えている。 ○史伝、文、詩等の訓読や口語読を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	○	9
								1
					○	○		合計
								70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語甲

教 科： 国語 科 目： 国語甲 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・4組：赤崎伸一）（2・7組：松永忠久）（3・6組：中野靖子）（5・8組：小平響太）

使用教科書：（ 文学国語（筑摩書房） ）

教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語知識や技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活で他者と伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたり国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目	国語甲	の目標：
【知識及び技能】		
言葉の特徴や使い方を身に付け、文章に含まれる情報の扱い方を学び、大学入試に対応できるだけでなく、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。		
【思考力、判断力、表現力等】		
「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力を伸ばし、他者との関わり合いの中で、伝えあう力を高め、思考力や想像力を伸ばす。		
【学びに向かう力、人間性等】		
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書にしたしむ事で自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	第2章 交差するドラマ 【知識及び技能】 ○近代小説の語彙や表現を理解し、登場人物の心情の理解方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。小説でも、論理的に読む力を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ○小説の構成や登場人物の心情などを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○小説読解の方法を理解させる。 ○作品の時代背景や世界観、登場人物の心情を話し合い、発表させる。 ◎教材 「舞姫」 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○小説作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○表面上のストーリー展開を理解するだけではなく、作品が成立した背景や、鴎外の他の作品及び同時代作家の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	8
	第5章表現を突き詰める 【知識及び技能】 ○文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○随想的評論の読解を協働して学ぶ。	◎指導事項 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や作者の他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○随想的評論の読解方法を理解させる。 ○小林秀雄の独特な表現を読み解かせる。 ◎教材 「無常ということ」 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○随想的評論に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○小林秀雄の独特な思考や表現を味わい理解し、作品の解釈を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。○語彙を増やし、文や文章の中で使える。	○	○	○	3
	第1章物語が生まれる場所 【知識及び技能】 ○評論的文章や随想的文章の表現や特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○筆者の視点や設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈させる。 ○論理的に文章を読む力を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ○小説を創造することについて、また小説家を持つ感性とその表現についての読解を協働して学ぶ。	◎指導事項 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や作者の他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○評論の読解方法を理解させる。 ○三島由紀夫、谷崎潤一郎という文学者の表現を読み解かせる。 ◎教材 「小説とは何か」「陰影礼賛」 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○随想的文章や文学的評論に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○三島由紀夫や谷崎潤一郎の思考や表現を味わい理解し、作品の解釈を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 ○論理的に文章を読む力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみをもち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	6
定期考査							○	○		1

2 学 期	第3章新たな視座を得る 第5章表現を突き詰める 【知識及び技能】 ○評論的文章の特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈させる。 ○論理的に文章を読む力を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ○日常的に行われている状況について筆者が持つ感性、考え方とその表現についての読解を協働して学ぶ。	◎指導事項 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や作者の他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ○評論の読解方法を理解させる。 ○人文学者の考え方と表現を読み解かせる。 ◎教材 「隠れん坊の精神史」 「ある〈共生〉の経験から」等 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○評論に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○論理的に文章を理解している。 ○人文学者の思考や表現を味わい理解し、作品の解釈を深めている。筆者の文章を通して、人間社会の様々な現象に興味関心を持って考察しようとしている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	10
	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみを持ち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみを持ち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
3 学 期	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力を付け、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみを持ち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	4
	個別指導 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力を付け、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について積極的に取り組む姿勢を身に付ける。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみを持ち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	14
										合計 70

28

18

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語乙

教科： 国語 科目： 国語乙 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・8組：安齋 廉）（2・7組：小鷹聡子）（3・5組：豊田佐和子）（4・6組：美田 恵）

使用教科書：（「文学国語」（筑摩書房）・「精選 古典探究」古文編・漢文編（明治書院））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語知識や技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活で他者と伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたり国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語乙 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉の特徴や使い方を身に付け、文章に含まれる情報の扱い方を学び、大学入試に対応できるだけでなく、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力を伸ばし、他者との関わり合いの中で、伝えあう力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書にしたしむ事で自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	第2章 交差するドラマ 【知識及び技能】 ○近代小説の語彙や表現を理解し、登場人物の心情の理解方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。小説でも、論理的に読む力を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ○小説の構成や登場人物の心情などを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○小説読解の方法を理解させる。 ○作品の時代背景や世界観、登場人物の心情を話し合い、発表させる。 ◎教材 「舞姫」 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○小説作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○表面上のストーリー展開を理解するだけではなく、作品が成立した背景や、鴎外の他の作品及び同時代作家の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	後編 2 随筆 3 日記 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、理解する。 ○和歌解釈、和歌の歴史的背景 ◎教材 枕草子 「雪のいと高う降りたるを」 「二月のつごもりごろに」 蜻蛉日記「町小路の女」 「鷹を放つ」 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○随筆、日記、物語という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	後編 2 思想2 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○中国思想史を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○中国思想の内容を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○中国思想の内容を理解する。 ◎教材 『老子』『上善若水』『無用之用』 『莊子』『夢為胡蝶』 『墨子』『兼愛』 『韓非子』『侵官之害』 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○中国思想や漢詩（古体詩）の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	5
	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文内容読解、作問者の意図を読み、それに見合った解答を選択・作成できるようにする。 ○論理的に文章を読む力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1 台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみを持ち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

2 学 期	第3章新たな視座を得る 【知識及び技能】 ○評論的文章の特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈させる。 ○論理的に文章を読む力を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ○日常的に行われている状況について筆者が持つ感性、考え方とその表現についての読解を協働して学ぶ。	◎指導事項 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や作者の他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ○評論の読解方法を理解させる。 ○人文学者の考え方と表現を読み解かせる。 ◎教材 「隠れん坊の精神史」等 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○評論に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○論理的に文章を理解している。 ○人文学者の思考や表現を味わい理解し、作品の解釈を深めている。筆者の文章を通して、人間社会の様々な現象に興味関心を持って考察しようとしている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	4
	後編4 文・随筆 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○思想に基づいた文や漢文随筆の歴史背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○登場人物の人物像を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○文、詩文の内容を理解する。 ◎教材 文「師説」など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○文（辞）や小説の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	2
	後編 5物語 10 評論 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ○源氏物語の歴史的背景 ◎教材 源氏物語「浮舟」 源氏物語玉の小櫛「もののあはれ論」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○物語という文章の種類や作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみを持ち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみを持ち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

3 学 期	問題演習 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力を付け、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について協働して学ぶ。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみをもち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	4
	個別指導 【知識及び技能】 ○入試問題演習を通して、語彙力を付け、文章読解方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ○問題文筆者、作問者の意図を読み、それに見合った解答を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○問題演習を通して、読解方法や解答作成について積極的に取り組む姿勢を身に付ける。	◎指導事項 ○入試問題に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、時代的思想的背景なども踏まえ、問題文読解力を深める。 ○作問意図に気付かせ、採点者が期待する解答を作成する力を育成する。 ◎教材 大学入試過去問等	○	○	○	○入試問題の読解を通して、語彙を増やし、それを読解や解答作成にも使うことができる。 ○入試問題に表れる現代思想や科学的知見や時代背景について理解し、問題解釈に活かすことができる。 ○問題文の内容に関心と親しみをもち、大学入学後の学問や社会へ出てからの学習や思考への見通しを持って取り組んでいる。	○	○	○	14
										合計
										70